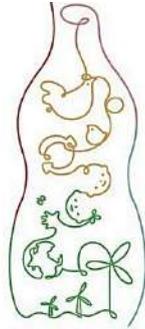


- 1 食の安全にこだわります。
- 2 健康な食べ方を大切にします。
- 3 国内自給力アップをめざします。
- 4 遺伝子組み換え作物を認めません。
- 5 有害物質ゼロをめざします。
- 6 自然資源を大切に使います。
- 7 ごみの削減に取り組みます。
- 8 原発のない社会をめざします。
- 9 おたがいにたすけあう社会をめざします。
- 10 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

第一次 生活クラブ  
2030  
行動宣言



生活クラブはSDGsの理念に通じ、  
かつ留まらない活動を実行していくことを約束します。

2015年、国連で合意された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」は、貧困や飢餓、気候変動など人類全体の課題を解決するための17の世界的目標で、2030年までの達成をめざしています。生活クラブがまとめた「第一次 生活クラブ2030行動宣言」は、SDGsの理念に通じ、かつSDGsに留まらない生活クラブの取組みの中から、さらに推進すべきことをまとめた宣言です。8つの重要目標を掲げ、サステイナブルな未来の実現をめざしています。

今回は、重要目標5.についてみてみましょう。

※詳細は生活クラブ連合会ウェブサイトの「理念・ビジョン」を参照してください。⇒



## 8つの重要目標 No.5

### 誰もがその人らしく、安心して生活を営める 地域と社会をつくります。

生まれてから生涯を終えるまで安心して生活を営むため、地域に必要な福祉事業および市民活動の環境整備と資源創出をすすめます。

#### ● 子育て支援・居場所づくり

福祉・たすけあいの土台は人と人との関係性です。居心地のよい関係性や場所にふれながら暮らすことは、安心できる生涯の支えとなります。生活クラブは、孤立している人・子育てに戸惑っている人が「自分があるままでいられる」「自分が役に立っていると感じられる」、そのような関係性や場所を地域に広げていくことをめざしています。

#### ● 介護予防への取組みと健康長寿の活動

健康づくりの支援として、生活習慣の改善につながる情報をWebサイト「ビオサポレシブ」で発信しています。また食べるカタログでは、大人から子どもまで、あらゆる世代の健康な毎日の食卓をサポートする消費材シリーズ「美食百彩」を展開しています。

#### ● 防災減災と災害時の地域のたすけあい

阪神淡路大震災、東北大震災の経験から、日ごろからのつながりの必要性を認識するために、組合員にカンパを募って学習会や交流会を行っています。また、共済が提供する講座を利用して防災テーマのライフプラン講座を企画しています。



#### ● 私たちができるアクション

自分が安心できる人間関係や居心地のいい居場所を地域で築くために、さまざまな活動に取り組んでいます。

各支部(現在10支部中8支部)で行われている、子育て世代への支援活動「子育てひろばきらきら」、名谷センター食育スタジオを拠点として行う、生活クラブの「食」を伝える「食育セミナー&ランチ」、みんなの居場所づくりを目指した「みんなのひろばリーチ」を組合員が運営しています。

また、地域福祉に取り組むために設立された認定NPO法人「都市生活コミュニティセンター」が運営する高齢者向け住宅「パンセ武庫之荘」では、組合員が厨房・介護職員として働いています。

関連するSDGsの目標



2Pに続く



公式サイト

機関紙「都市生活」カラー版既発行分はこちらで。



Facebook ページ



Instagram

第一次 生活クラブ 2030 行動宣言

8つの重要目標 No.5

誰もがその人らしく、安心して生活を営める地域と社会をつくりまします。

多世代の居場所づくり

● みんなのひろばリーチ

「みんなで作る みんなのひろば」「いつ だれが来ても ほっとするひろば」…こんな場所があったらいいな、と「みんなのひろばリーチ」(以下、「リーチ」)を2019年に作りました。ろっこう医療生協の協力により、2か所の組合員室を会場に開催しましたが、コロナウイルス感染症拡大の影響でしばらくお休みしていました。でもこんな時だからこそ、ほっとしてリフレッシュできる場が欲しいと、現在は神戸市灘区大和公園内の「地域共生拠点あすパーク」で再開しています。10月は小さな子どもたちが集まり、「こども縁日」を開催。釣りや輪投げ、ボウリングと、自然の中で秋の一日を満喫しました。



シートを敷いて、手遊びや魚釣り。(あすパークで)

● コロナ禍でも「リーチ」でつながれる！

緊急事態宣言下、人が集まる企画は中止をしていました。でも、同じ場所にいなくてもつながることはできる！と、今年度からオンラインでの「リーチ」を始めました。カタログに載っているおすすめ消費材の紹介、せっけんでのお掃除の仕方、絵本の読み聞かせなどをしています。自宅から参加できるので、会場まで行くにはちょっと遠い、外出しにくいという時にも気軽に参加できます。今後、子育てや介護などにも役立つちょっとした講座も盛り込んでいく予定です。

コロナ感染など思わぬことがいろいろ起こります。そんな中でもみんなで知恵を出し合い、たすけあって、「リーチ」を世代や立場を超えた地域の様々な人と人がつながることのできる、多世代の居場所にしていきたいと思っています。

● 人と出会い「つながる」ことの大切さ

居場所もそうですが、人と出会うことでいろいろなことを学びあったり、勇気や優しさをもらえたりします。人に

話すことで、心配事が軽くなることもあります。またつながることで、ちょっとしたことを「お願い！」と頼める関係が作れると、困ったときにとても心強いものです。

自然災害等が多い昨今、地域でのつながりづくりは防災・減災にもなります。支部で防災ワークショップを開いたり、来年1月には「こんな時だからこそ考えたい『つながる』」と題して講演会・交流会を予定しています。

(講演会の詳細は同時配布のお知らせをご覧ください。)

遊びに来てね♪

■ みんなのひろばリーチ ■

多世代がつながる居場所づくりをめざしています。

申込みは本部センター(小松)がウェブサイトから↓↓

● オンラインで (第2木曜 10:30~11:30)

Zoomミーティングで、自宅から参加。

● あすパークで (第3火曜 10:30~11:30)

JR六甲駅近く、大和公園内の「あすパーク」で開催。

オンライン	1/13(木)	2/10(木)	3/10(木)
あすパーク	1/18(火)	2/15(火)	3/15(火)



九州産揚げなす(乱切り)

200g 397円(税込429円)



いますが、今回のおすすめは「九州産揚げなす(乱切り)」。福岡県産の長なすを乱切りにし、消費材のなたね油で揚げてあります。やはりなすと油は相性抜群です。油で揚げるといって手間が加えてあるので、そのままレンジで温め、醤油やポン酢でお酒のおつまみに、お味噌汁に入れてもコクが出ます。旬の一番おいしい時に収穫し、冷凍された生活クラブの冷凍野菜は、時短だけでなく美味しさも申し分ないです。(理事 菊田宏子)

冷凍野菜を使っていますか？ ほうれん草、枝豆、さつまいも、カレーピーマンなど、カタログには週替わりでいろいろな野菜が載っています。洗ったり、切ったりという下ごしらえが不要なのでとにかく急いでいるとき、またちょっと冷蔵庫のお野菜では足りないときに重宝しています。冷凍庫に常に数種を常備して



# 冬野菜を食べよう！



白菜、ほうれん草、大根といった、冬に旬を迎える野菜たち。冬野菜の特徴は、寒さで凍ることがないよう、細胞に糖を蓄積するため、糖度の高い野菜が多いこと。また、ビタミンやカロテンなどの栄養価を多く含む野菜は、免疫力を高め、風邪の予防にも効果があるといわれています。いいことづくしの冬野菜、煮物や鍋など、体が芯から温まる料理に使って、寒い冬を乗り切りましょう。

## 冬野菜の上手な食べ方

### ◇ 成分を逃がさずキャッチ

野菜に含まれる栄養素には水溶性のものが 있습니다。ビタミンCやビタミンB、カリウムなどはその代表選手。溶け出してしまう成分もしっかり取り入れるなら、みそ汁や鍋など煮汁までいただく料理がベスト！あたたかいスープはからだもポカポカあたたまって一挙両得です。

### ◇ 薬味をきちんと使う

この時期、ねぎ、にんにく、しょうがは必ずキッチンに備えておきたい野菜。血行促進や新陳代謝を高める成分が、からだを温めてくれます。基本的に香味野菜は殺菌力や解熱効果があるものが多いよう。かぜ気味の時には特に摂取を！

### ◇ 皮や葉っぱもリサイクル

大根やかぶの葉っぱや、かぼちゃ、にんじんの皮など普段は捨ててしまう部分も、実は栄養がいっぱい！細かく刻んでおひたしにしたり、皮の厚いものは皮ごとふかす・じっくり熱を通す、などの工夫でいつもと違う料理に大変身。生ごみ減量にもつながって一石二鳥です。



## 代表的な冬野菜

かぶ	根の部分には消化酵素のジアスターゼが含まれているので食べ過ぎの方に。
ほうれんそう	カロテン、ビタミンC、鉄が含まれています。根の部分にはマンガンも含まれているため、捨てずに工夫してお料理を。
大根	ほっこりと甘味が強い冬大根。ビタミンCが含まれているため、乾燥して寒い季節におすすめ。
白菜	鍋の主演野菜。食物繊維、ビタミンC、カリウムが含まれている。
ごぼう	セルロース、リグニンなどの良質な食物繊維が含まれている。
ねぎ	ねぎ独特の辛味「アリシン」は、からだを温めるほか、ビタミンB <sub>1</sub> の吸収を高める働きもある。かぜでからだ弱っているときにおすすめ。

登録制で毎週届く、契約野菜「畑の便り」では、旬の野菜をお届けしています。  
お問い合わせ、申し込みは本部センターか配達担当まで。



## 焼き野菜とホタテのスープ

< 材料 > (2人分)

- ・白菜 1/8株 ・ごぼう 1/2本
- ・ほたて貝柱水煮缶 1缶 (170g)
- ・オリーブオイル 大さじ1/2
- ・バター 8g ・水 300ml
- ・真塩 少々 ・ブラックペッパー 適量



< 作り方 >

- ① 白菜は5cm長さのざく切り、ごぼうは皮をたわしで洗い、乱切りにする。
- ② ほたて缶は汁と身に分けておく。
- ③ 鍋にオリーブオイルとバターを入れて熱し、白菜・ごぼうを加え炒める。

- ④ 白菜、ごぼうに焼き色が付いたら水、ほたて缶の汁を加え中火にする。煮立ったら蓋をして弱火にし、ごぼうが柔らかくなるまで15~20分ほど煮る。
- ⑤ 塩で味を調べ、最後にほたての貝柱を加えてひと煮たちさせ、器に盛る。ブラックペッパーをかける。

### じんわり、あったか♡冬野菜煮込み料理

~ビオサポレシピより~ ↓

(掲載レシピの例)

- ・まるごと人参ポトフ
- ・ふろふき大根ごぼうあんかけ
- ・さつまいもと鶏肉のサムゲタン風
- ・牛肉とごろごろ根菜のビーフシチュー



# つながれ! リレー生産者交流会

## 報告

会場参加で  
限定プレゼントが  
もらえたよ♪



9月22日から11月25日まで、生産者交流会をオンライン(Zoom)で13回開催しました。主催した10支部と丹精國鶏プロジェクトチームがホスト役を務め、リレー形式で行なうことにしたので「つながれ！リレー生産者交流会」と名付けました。生産者のお話を聞けるのはもちろん、組合員限定スタンプラリー、会場参加限定プレゼント、企画ごとのお楽しみプレゼントと盛りだくさんな内容で、好評の中、最終回まですみました。

### 「つながれ！リレー生産者交流会」に込めた思い

2020年はコロナ禍で会場におおぜいが集まる機会が激減し、それまで当たり前に行っていた生産者交流会や企画の多くを中止とせざるを得ない1年でした。10月号でもお伝えしたように、「おおぜいが出会う場、生産者や消費材について知る機会をこれ以上減らしたくない」「組合員と生産者が、それぞれにいろんなきっかけからつながれたら」「リレーでバトンを渡すように、消費材を通してみんながつながれ！」という強い思いに端を発したこの企画。生産者が来られないならオンラインで！同じタイトルを掲げて交流会どうしをつなごう！と、準備をすすめる実行委員と各支部のクリエイターたちの熱量と一体感は、コロナ禍にあることをしばし忘れるほどでした。



カラーのチラシでお知らせしました。

### 自宅で気軽に♪会場でもみんなと♪

生産者は遠方なところも多いため現地からオンラインで話してもらい、参加者は自宅からのリモートと会場に集まる2パターンとしました。小さいお子さんがいるなど外出が難しい人や遠方に足を運びにくい人は自宅で、また、参加者どうしで一体感を味わいたい人は会場でと、それぞれの良さを生かした参加形態を楽しむ人が多くみられました。緊急事態宣言の影響で4回目(10月5日)までは全員自宅参加の形としましたが、全ての回で自宅・会場ともに想定以上の参加があり、主催者にとって今後の活動への活力源となりました。



高橋さんのお話にも、感動した場面も。(高橋徳治商店交流会会場にて)

## 100円のたすけあい

問合せ先：組織部(078-904-3260)中田

エコロたすけあい制度の加入者が支払う月100円の掛け金は、「たすけあい」を繋ぐために使われています。みんなでお金を出し合い、合意のもと制度を継続させていくには、多くの組合員に参加してもらう必要があります。

ケア者として直接関われないという理由で加入をためらわれる方もいらっしゃると思いますが、加入するだけでも、この制度を見守るサポーターとしてとても大切な役割を担えます。

## 9月

### エコロたすけあい制度利用状況

加入者：1,229人

給付申請件数	15件
給付金額	12,000円
事務費(審査会会場費、交通費、活動費)	0円

エコロ講座講師登録なし コーディネート成立0件

月100円という金額は、生活クラブが掲げる「サステナブル＝持続可能な」続けていける金額でもあります。誰もが無理なく支え続けられるこの制度を一緒につくっていく仲間になりませんか？ (コーディネーター 小椋やよい)

## いろいろ工夫した「オンライン生産者交流会」

オンライン形式は、実は生産者(話し手)にとって非常に話づらいそうです。話し手の声を聞き取りやすくするために参加者がミュート(無音)にする上、1つの画面に大勢の顔が並ぶと参加者の表情が読み取りにくい、反応がわかりにくいからだとか。今回は全企画の冒頭でそういった特色を伝え、自宅・会場に関わらず参加者には大きめにうなずくなど、オーバーリアクションを求めました。逆に参加者(特に自宅)は画面を見つめ続けることで想像以上に疲れるため、クイズを取り入れる、途中でストレッチの時間を設けるなど、企画ごとに工夫を凝らしました。



生産者の話に聞き入る会場参加の皆さん(重茂漁協交流会会場にて)



## “つながる”ということ

準備段階で「オンラインに不慣れな人もいる。この形態ですめてよいか」「会場に集まることに二の足を踏む人も多いかも」等の不安があったのですが、参加のべ人数や参加者アンケートから多くの人が“つながる”機会を望んでいたのが見て取れました。また、生産者の中にはオンライン交流会自体が初、都市生活との交流会が初、その消費材にスポットを当てた企画は初と多くの“初”があり、今後の組合員活動へ“つながる”きっかけができました。そしてもうひとつ“初”の試みで、生産者に「他の生産者の交流会に参加しませんか」とお声掛けをしました。参加されたうちのおひとりから「今年度から



本職はYouTuber?!  
オンラインとは思えないほど手慣れた様子で進行してくれた“アーダブレイン”佐藤さん

生活クラブの担当になったが、コロナ禍で生産者どうしが交流する機会がほとんどないままだった。生産者どうしてつながる機会を得られてありがたかった。」という言葉をいただきました。いろんな形でつながり支え合う生活クラブのよいところが、いい意味で現れた企画になったように思います。



## ついで すみか 終の棲家 看取りまで 前編

小規模多機能型居宅介護 パンセ武庫之荘ホーム  
管理者 池田 啓一 (寄稿)

生活クラブの関連団体、認定NPO法人都市生活コミュニティセンターが運営している「パンセ武庫之荘」。今年度はその日常を知ってもらい、より身近に感じてほしいと4月より連載してきました。今月からは2回連続で、パンセが直面している課題、その先にある願いなどを「パンセ武庫之荘」の管理者、池田啓一氏に寄稿していただきます。

== \* == \* ==

もう四半世紀ほど前のことです。当時、私たちは2級ヘルパー養成研修というもの始めたばかりでした。その中の医学関連の講座で、講師のドクターが受講者を挑発するように、「がん、脳卒中、心臓病が三大死因といわれているが、あなたたちは自分が死ぬならどれがいいと思うか?」と投げかけ、すぐに続けて「私ならがんがいい」と言い放ちました。

介護現場における看取りということばは、病院ではなく在宅や施設で最期をケアするという意味で使われることが多いです。もっと挑発的にいえば、「救急車で運ばれた先の病院で点滴や人工呼吸など管やチューブにつながる延命治療のほかに

死を迎えることを避ける」というのが裏の意味であるとしておきましょう。

末期がんや老衰の場合の看取りでは在宅診療を得意とする医療機関、訪問看護ステーション、そして私たち介護現場の三者がタッグを組み、本人および家族と話しあいを重ねながら、平穏な最期を迎えるための共通理解をそのつど形成して、ことに当たります。このような形で何人かの方々を看取ったことがあります。

がんについては痛みを和らげる緩和ケアが近年は進んでいて、がん＝苦痛という等式は必ずしも成り立たないように思われます。脳卒中や心臓・血管系の病気はもちろん、他の臓器不全や感染症などについては末期がんの場合と異なり、一刻を争う救急搬送が必要な場合もあります。心臓その他の臓器不全については、緩和ケアもまだ発展途上にあります。病院と在宅医療・介護との連携が大きな課題となっています。



# 西神戸 支部

## 活動に工夫を重ねています

### オンライン開催の良さも実感

今年度の支部テーマは、生活用品です。昨年度末からさまざまなことを企画していましたが、なかなか終わりの見えないコロナ禍。デジタルに疎いクリエイターたちですが、Zoomを導入しました。不慣れで、電話をかけながらつなぎ方を伝えるということもありましたが、ご愛嬌。ジャパンビューティプロダクツ(JBP)やアスケー石鹸とのオンライン交流会を開催し、オンラインでも十分に学べ、つながれることを実感しました。JBPのメイクアップ講座では、事前に消費材を配達便でお届けし、手に取りながら実演でき、マッサージやメイクの仕方を画面越しだからこそ、近くでよく見えるというメリットもありました。

支部ミーティングもオンライン開催し、調理&試食ができないなど対面にはいかないこともありますが、一人ひとりとお話ができ、おうちからでも“密”につながるきっかけになりました。



### アスケー石鹸交流会

オンラインでもつながれました。

### ほっとできる場を一緒につくろう

“おうち時間を彩る”企画として、リース作りを2回開催しました。申し込みが多く、会場定員のため抽選して少人数での開催になりましたが、手を動かしながらカラフルで素敵なリースをつくり、心がほっと癒される時間を過ごしました。ほっとできる空間、楽しい時間を過ごせるような企画を開催していきたいです。モニットも大募集中です。一緒に活動しませんか。

(西神戸支部クリエイター 谷口寿満子)



リース作りが癒される時間になりました。

**モニットとは…** 所属の支部で登録して、1年間(2年まで登録可能)支部ミーティングに出席。学習・交流・試食などをして生活クラブ生協のことをよりよく知る活動です。お問い合わせは本部センターまで。(078-904-3260)

### 大好きな消費材

= 絹ごし豆腐(豆伍心) =  
167円 (税込180円)



深夜に食事をする夫の白ごはん代わりに、たくさん定期登録して利用しています。こだわりの原料を使っているのに1パック180円というお手頃なお値段も利用しやすくおすすめです。大豆の風味が豊かで、とても上品な甘みがします。国産大豆100%、天然にがりを使って、消泡剤不使用で手作業で泡を取り除いてとても丁寧に、手間をかけて大切に作られています。3年程前に工場を見学させてもらい、豆腐作りに対する熱意を肌で感じ、職人さんたちの豆腐作りの技を見て、ますますファンになりました。

夫は何もかけずそのまま、子どもたちは万能つゆをかけて、私はグランドの塩とオリーブオイル・ごま油・ごま辛味オイルなどをかけて冷奴や温奴でいただいています。

(西神戸支部クリエイター 山口千恵子)

### 今月の組合員

#### ステキな勘違い

中 祐子さん 西宮支部 2019年1月加入

母が組合員なので、「食べる専門」時代から消費材にお世話になっています。その頃は「よくわからないけど美味しい」とぼんやりと思っていたのが、結婚して料理するようになると「本っ当〜に美味しい」になり、企画やクリエイター活動に参加するにつれて「美味しい理由」がわかってきて、それがとても楽しいです。転勤先で加入を繰り返し、都市生活は3年目、「なんて農・海産物の豊かな所だろう！」と感じてます。「畑の便り」で新鮮な地場の野菜が通年、毎週届くことには驚きました。そんな暮らしの中で起こるのが「私、料理上手?!」という錯覚…。すぐに「消費材のおかげだ!」と気がつくのですが、そんな勘違いも楽しいです。

つれづれとしせいかつ  
**徒然都市生活**

# 丹精國鶏プロジェクトチーム



西宮支部 長谷川陽子さん

生活クラブ生協では多彩な組合員活動が盛んです。  
今年度は、その活動とそこで活躍する仲間を紹介します。

冷蔵供給中心になる丹精國鶏を、もっと知ってもっと伝え利用をすすめていくため、メンバー5名による丹精國鶏プロジェクトチームが半年の期間限定で発足しました。緊急事態宣言等により毎月の会議は全てオンラインでしたが、“はじめまして”のメンバーも一緒に、終始和気あいあいと行われました。

「丹精國鶏ニュース」を発行したり、「つながれ！リレー生産者交流会」では「丸本・オンダン農協交流会」を企画し、23名の参加者とともに丹精國鶏のことをより知ることができました。鶏舎担当の方から生産現場の苦勞など直接お話をうかがうこともでき、貴重な機会になりました。

それぞれができる形で準備を分担し、意見を出し合うことができるメンバーとともにたくさんのレシピにも出会い、鶏料理のレパトリーがひろがったことも嬉しかったことのひとつ。あまり手が伸びなかったキモやミンチが食卓に上るようになり、毎週どの部位にしようかと考えるのが楽しみにになりました。

メンバーはみな、丹精國鶏に対する愛着がより湧き、これからも食べ続けられるよう、私たちの「食べるチカラ」を大事にしたいと思っています。一緒に丹精國鶏のいろいろな部位を食べていきましょう。



上左から  
西倉由美さん 安達祐子さん  
小谷里香さん 長谷川陽子さん  
本条由希子さん



丹精國鶏ニュース



つながれ!リレー生産者交流会の様子

## 兵庫県生協大会で表彰されました



←宮崎さん  
↓高田さん

10月29日、長田区文化センター別館ピフレホールで、「2021年度兵庫県生協大会」が行われました。生協活動への長年の功勞に対して表彰が行われ、前副理事長の宮崎幸恵さんが「兵庫県知事感謝」を、(株)生活クラブ関西に業務出向している高田典秀さんが「兵庫県生協連合会会長表彰」を受賞されました。お二人ともおめでとうございます。

## 理事会報告

2021年度第6回理事会報告 2021.11.1.10:00~15:10 於神戸市勤労会館403  
出席理事：17名(実出席17名)、出席監事：3名(実出席3名)  
以下、報告承認事項(1項目省略)・協議決定事項(2項目省略)

1. エコロ審査会報告を受け、9月申請分15件中、15件の給付を承認した。
2. 住吉川川水力発電所を実現する会の、水車くるくる講座開催状況と作成中の水車遺構MAPを確認した。
3. 10月度関西運営委員会報告を受け、内容を確認した。
4. 兵庫県生協指導検査(9/22)の結果通知を報告し、改善策についての正式回答を承認した。(指導事項は「なし」、講評事項6点への回答)。なお、回答を求められていない助言事項への対応は、事務局検討の上、別途提案する。
5. 上期決算報告と下期及び年度の事業シミュレーションと対策を承認した。上期は、供給高が計画比102.9%と超過、供給剰余率も計画を上回り、経費が計画比96.8%と下回った結果、事業剰余、経常剰余とも計画を2,450万円以上超過し、黒字での折り返しとなった。
6. 合同クリエイター会議開催と2022年度活動方針基本骨子案を検討確認した。
7. 関西運営委員会からの「よやくる」答申案について説明し、次回理事会で単協意見、質問を協議するための予備討議とした。
8. たすけあい講座・震災支援企画「つながる」(仮称)の提案を承認した。
9. 給与規定の変更について確認した。

(会議報告)  
連合理事会、各委員会の報告および各担当理事会の報告を共有した。  
(事業報告)

9月度決算報告を確認した。供給高は計画比101.5%、前年比103.0%。経費は予算比98.5%(人件費105.1%、物件費95.3%)、GPR=供給剰余率は計画を0.18ポイント上回った。結果、経常剰余金は予算を210万円上回った。10月加入は136名で計画を6名上回り、脱退は79名で計画より1名少ない。秋の紹介キャンペーンでの加入が上向ってきた。

